

みずほCustomer Desk Report 2022/05/25 号 (As of 2022/05/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	127.89
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	127.82	1.0686	136.43	1.2567	0.7086
SYD-NY High	128.08	1.0748	136.75	1.2599	0.7112
SYD-NY Low	126.37	1.0662	135.60	1.2475	0.7057
NY 5:00 PM	126.85	1.0735	136.17	1.2536	0.7107
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,928.62	48.38	日本2年債	▲0.0700%	▲0.0100%
NASDAQ	11,264.45	▲ 270.83	日本10年債	0.2300%	0.0000%
S&P	3,941.48	▲ 32.27	米国2年債	2.4797%	▲0.1470%
日経平均	26,748.14	▲ 253.38	米国5年債	2.7421%	▲0.1334%
TOPIX	1,878.26	▲ 16.31	米国10年債	2.7533%	▲0.1063%
シカゴ日経先物	26,685.00	▲ 415.00	独10年債	0.9510%	▲0.0655%
ロンドンFT	7,484.35	▲ 29.09	英10年債	1.8870%	▲0.0810%
DAX	13,919.75	▲ 255.65	豪10年債	3.3250%	0.0310%
ハンセン指数	20,112.10	▲ 357.96	USDJPY 1M Vol	11.15%	0.48%
上海総合	3,070.93	▲ 75.93	USDJPY 3M Vol	10.48%	0.28%
NY金	1,865.40	17.60	USDJPY 6M Vol	10.00%	0.07%
WTI	109.77	▲ 0.52	USDJPY 1M 25RR	▲0.93%	Yen Call Over
CRB指数	313.75	▲ 1.45	EURJPY 3M Vol	11.43%	0.05%
ドルインデックス	101.86	▲ 0.22	EURJPY 6M Vol	11.00%	▲0.07%

東京	東京時間のドル円は127.82レベルでオープン。特段目立った材料が無い中、米金利の上昇を横目にドル円は一時128円越えも、売り需要の強さに上値重く、米金利の低下や日経平均株価が下げ幅を広げると、ドル円も下落し127.69レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は127.69レベルでオープン。ECBラガルド総裁の「景気後退はECBの基本シナリオにはない」との効派発言でユーロが強含んでドルが押される中で、株安による円高も相まってドル円は下落。一時127.09まで売られ127.29レベルでNYにわたった。
ニューヨーク	海外市場でドル売りが継続する中、ラガルドECB総裁とホルツマン・オーストリア中銀総裁の効派な発言を受け、ユーロドルが大きく買い戻される展開に、ドル円は127.09まで下落し、127.29レベルでNYオープン。朝方は株式市場が軟調に寄り付く中、円買いが強まり、米長期金利低下を受けたドル売りも加わり、127円丁度を下抜けし、米国5月製造業、サービス業PMIが予想を下回り、前回からも低下したことや、続いて発表の5月リッチモンド連銀製造業指数が予想を大きく下回りマイナスとなったことや、4月新築住宅販売件数も予想以上に悪化し、前回分も下方修正されたことからドル売りが強まり、126.37まで低下する。午後はポストティック・アトランタ連銀総裁の「Fedは慎重に引き締めを進めるべきだ」との発言も伝わり、ドル円は安値圏での推移が暫く続くが、終盤に掛けては調整からややドルが買い戻され、126.85レベルでクローズした。一方、海外市場で昨日のと同様のラガルドECB総裁の「9月までにゼロかそれ以上の金利になるかもしれない」との見解や、ECBで最も効派とされているホルツマン・オーストリア中銀総裁の「7月の50bpの利上げは適切だろう」との発言も伝わり、ビルロッド・ガロー・仏中銀総裁の「50bp利上げはECBのコンセンサスではない」との発言が伝わるものの、ユーロドルは効派発言に反応し、1.0700を上抜けし、1.0736まで上昇し、1.0715レベルでNYオープン。朝方は一旦1.0696まで反落するが、弱い米経済指標結果を受け米金利が低下する中、1.0747まで戻す。午後に入り1.0748まで上昇するが、終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続き、1.0735レベルでクローズした。

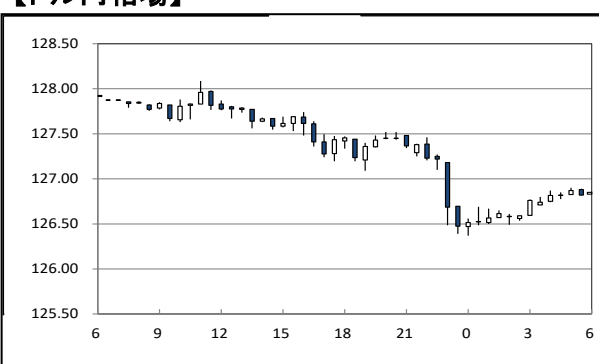
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月24日	08:30	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	「政策金利を目標の2%へ戻すことが最優先課題」	
	15:50	欧 ラガルドECB総裁	「ユーロ圏のリセッションは想定していない」	
	17:10	欧 ビルロッド・ガロー・仏中銀総裁	「ECBの50bp利上げはコンセンサスではない」	
	20:40	欧 ホルツマン・オーストリア中銀総裁	「7月会合での50bp利上げが適切かもしれない」	
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	5月 -9	10
	23:00	米 新築住宅販売件数	4月 -	755k
5月25日	01:20	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁	「FRBは引き締めを慎重に進めるべき」	

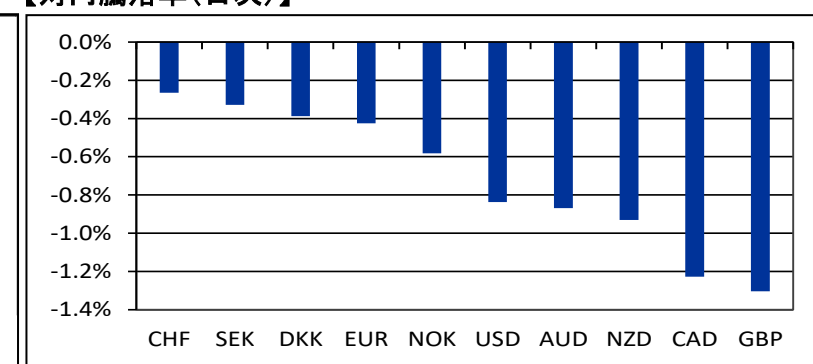
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月25日	14:00	日 景気一致指数・確報	3月 -	97
	15:00	独 GDP(前期比)・確報	1Q -	0.0
	21:30	米 耐久財受注/除輸送用機器(前月比)・速報	4月 0.6%/0.7%	1.1%/1.4%
5月26日	00:00	米 FOMC議事要旨	-	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	126.00-127.50	1.0620-1.0800	135.50-137.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は、127.82レベルでオープン。米金利上昇の流れに128.08まで上昇するも、一服後は新規材料に乏しく方向感を欠く展開。ロンドン時間に入ると、ラガルドECB総裁の「景気後退はECBの基本シナリオにはない」との効派発言を受けてユーロが買われ、ドル円相場の下押し要因となった。ニューヨーク時間に発表された米5月PMIは4ヶ月ぶりの低水準。ドル売りが加速し、126.36を付ける場面もあった。一服後は徐々に値を戻し、126.85レベルでクローズ。本日のドル円は、上値の重い展開を予想する。米4月新築住宅販売、米5月PMIもネガティブな結果となり景気減速が不安視されている上に、ECBによる金融引き締めへの期待が高まっている。本日発表される5月FOMC議事要旨の内容が市場織込み通りだった場合、対ユーロでドルは売られやすくドル円下落にも波及しやすい。ポストティックアトランタ連銀総裁のハト派発言も、ドル円の重しになりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報提供を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・上遠野